



いしわら

6月号

令和3年5月31日

調布市立石原小学校

校長 江原 幸一

<https://www.chofu-schools.jp/isiwara-sho/>

みんなそうしているから

校長 江原 幸一

今年は例年になく梅雨入りの早い地域がありましたが、関東地方はまだのようです。6月は「ふれあい月間（いじめ防止強化月間）」です。人に優しく接すること、いじめをしないことなど指導するとともに、あいさつ運動期間を通じて、あいさつの大切さも指導していきます。

本校では、6月3日（木）4日（金）の2日間に分け、2学年ごとの体育指導の発表の場としての「スポーツ大会」を実施します。東京都が緊急事態宣言対象となっているため、今年度も平日開催とします。各学年とも新型コロナウイルスへの感染対策を講じながら、指導に力を入れています。子どもたちも「仲間と協力し合い、最高のスポーツ大会を楽しもう。」というスローガンのもと頑張って練習に励んでいます。

さて、新型のウイルス感染症に係る緊急事態宣言も東京都では3度目となり、更なる延長が決まりました。新聞やテレビ等の報道からは、緊急事態宣言のもつ本来の意味合い（人の流れの抑制）も、やや薄れてしまっている感があると報じられています。確かに、夕方の通勤電車も相変わらずの混み具合です。宣言の効果が出ているのか、新規感染者数は東京都、調布市でも確かに減ってきてはいますが、専門家の方々は高止まりであると意見を述べています。そのような中で、テレビのインタビューでは、感染対策をそれぞれの個人がきちんと行えば、ある程度のことはやってもかまわないのではないかと。それに、周りの人たちが「みんなそうしているから」大丈夫ではないかと。そんな声や雰囲気にも包まれているようです。今後、新規感染者数をさらに押さえるには、ワクチン接種が大きなカギとなりそうです。子どもたちを守るためにも、私たち大人が早くワクチンを接種することが望まれます。

学校では、今後、水泳指導も予定しています。新型コロナウイルスへの感染予防を講じるため、例年行っている学年全体での指導は行わず集団を小さくして行います。安全指導と水泳の実技指導を併せてしっかりと行い、感染防止対策のため子どもたちが触れる場所の適切な消毒作業を行い、水泳指導を実施してまいります。今後とも本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

～ 5年生スクールカウンセラーによる全員面談を実施しています～

東京都の方針により、都内公立小中学校に在籍する5年生と中学2年生にスクールカウンセラーによる全員面談が行われています。カウンセラーによる面談は基本的には本人の希望によるものですが、子どもたちにとってスクールカウンセラーに面談を申し込むのは、なかなかハードルが高いものです。そこで、誰でも気軽に悩みなどの相談ができるように、自分の学校のスクールカウンセラーとお話する機会を設けて、悩みがあった時には気軽に相談できる雰囲気づくりをします。

本校では、東京都のカウンセラーと調布市のカウンセラーが協働して5年生全員面談を行っています。過去に行った小学生向けのあるアンケート調査では、子どもたちは悩みがあったり、いじめに当たりたりしても、誰にも相談しない子が一定の割合で存在するという結果があり、全員面談は

とても良い機会であると感じています。子どもたちは子どもたちなりに、日々の生活の中で様々な悩みを抱えて、そのことと向き合って生活しています。教師も親もその思いをつかむことが難しい場合がありますので、このような全員面談の機会はとても意義のあるものだと感じています。